

「JAPANブランド育成支援事業」に認可

保命酒を海外マーケットに提案

12日までフランスと韓国視察

日本最古のリキュールと言われている福山市鞆町の漢方酒「保命酒」を世界ブランドに。福山商工会議所が中心となつて保命酒と、その関連商品を「保命酒商品群」写真と



して、海外マーケットに積極的に提案するた

め、11月4日
12日にハー
ブや漢方とり
キユール文化
のあるフラン
ス・パリと韓
国・ソウルで
視察事業を実
施、成果が期

待されている。

今年度、同会議所は中小企業庁の「JAPANブランド育成支援事業」に保命酒関連の事業を申請、6月に認可されたことに伴い、今回の視察を行うことになった。

視察のメンバーは、鞆町の保命酒メーカー(有)入江豊三郎本店 代表 入江孝子社長、電084・982・2013

▽(株)岡本亀太郎本店 代表 岡本憲良社長、電同9871、岡本憲良社長、電同982・2126▽(株)酒造 代表 岡本純夫社長、電同982・2011▽(株)八田保命酒 代表 八田健代表、電同982・2453)の関係者計4人と福山商工会議所の職員1人、および地元特産品開発を手がける備後特産品研究会(同市御船町1-13-5・(株)中島商店内、電同922・4870)の中島基晴会長と、マーケティングコンサルタントの三宅曜子・(株)クリエイティブ・ワイズ(本社・広島市)社長の合計7人。

三宅社長は、国民栄誉賞を受

けた「2011女子ワールドカップ」(サッカー)で優勝した日本代表チーム「なでしこJAPAN」の記念品に選ばれた「熊野の化粧筆」を海外に発信し、世界的な商品に育てた。

現地では、ホテルやデパート、リキュール専門店などを視察し、試飲会や試食会を行い、アンケート調査も実施する。中島会長は「戦略策定、及び海外でのニーズを把握し、海外市場展開に向けた意識レベルの統一と、海外市場に向けた商品開発に取り組み、来年度からの本格的な商品開発につなげていきたい」と強い意欲を示した。